

(5歳 ~ 8歳)

キ
ー
コ
ン
セ
プ
ト
1

人
間
関
係

1.1 家族

キーアイデア 世界にはさまざまな家族の形がある

学習者ができるようになること

- ・家族のさまざまな形（例：ふたり親の家族、ひとり親の家族、世帯主が子どもの家族、世帯主が後見人の家族、大家族、核家族、非伝統的家族）を説明する（知識）
- ・家族のさまざまな形に対する尊重を表現する（態度）
- ・家族のさまざまな形に対する尊重を表現する方法を実際にやってみる（スキル）

キーアイデア 家族のメンバーは異なるニーズと役割をもっている

学習者ができるようになること

- ・家族のメンバーの異なるニーズ、役割を明らかにする（知識）
- ・家族のメンバーが（時にそうしなくなかったり、できなかつたりすることもあるが）たくさんの方法で互いに助け合っている方法を的確に認識する（態度）

キーアイデア ジェンダー不平等は家族メンバーの役割や責任に影響することがある

学習者ができるようになること

- ・家族の中における男性と女性の役割と責任の違いを列挙する（知識）
- ・それらの違いが家族一人ひとりのできること、できないことにどのように影響を及ぼしているかを説明する（知識）
- ・ジェンダー不平等が家族の中でそれぞれの役割や責任に影響していることに気づく（態度）
- ・家族の中における男性と女性の役割と責任について、自らの役割や感情を省察する（スキル）

キーアイデア 家族メンバーは子どもたちに価値観を教えることにおいて重要である

学習者ができるようになること

- ・価値観とは何かを明らかにする（知識）
- ・自分や自分たちの家族が大切にしている価値観を列挙する（知識）
- ・家族メンバーの価値観は子どもの価値観に影響していることを認識する（態度）
- ・個人の価値観を表現する（スキル）

1.2 友情・愛情・恋愛関係

キーアイデア 友情にはさまざまな形がある

学習者ができるようになること

- ・友だちとは何かを明らかにする（知識）
- ・友情を大切にする（態度）
- ・ジェンダー、障がいの有無、健康状態は友だちになるうえで障壁にはならないことを認識する（態度）
- ・多様な友情を築く（スキル）

キーアイデア 友情は信頼、共有、尊重、共感、連帯に基づく

学習者ができるようになること

- ・友情の重要な構成要素（信頼、共有、尊重、共感、連帯など）を説明する（知識）
- ・友情の重要な構成要素に基づいた友人関係の構築を提案する（態度）
- ・信頼、尊重、理解を友だちに表現し共有する方法を実際にやってみる（スキル）

キーアイデア 人間関係はさまざまな愛情の形(友だちとの愛情、親との愛情、恋愛パートナーとの愛情など)を含むもので、愛情はさまざまな方法で表現することができる

学習者ができるようになること

- ・愛情のさまざまな形や、愛情の表現の仕方を明らかにする（知識）
- ・愛情はさまざまな方法で表現できることを認識する（態度）
- ・友だち間で愛情を表現する（スキル）

キーアイデア 健康的な、および健康的でない人間関係がある

学習者ができるようになること

- ・健康的な、および健康的でない人間関係の特徴を列挙する（知識）
- ・よいふれあいと悪いふれあいについて明らかにする（知識）
- ・健康的な、および健康的でない友情があることに気づく（態度）
- ・健康的な友だち関係を築き、継続する（スキル）

1.3 寛容・包摂・尊重

キーアイデア すべての人間は個々に異なりそれぞれにすばらしく、社会に貢献できる存在であり、尊重される権利がある

学習者ができるようになること

- ・他者と公平に、平等に、尊厳と尊重をもって向き合うことの意味を説明する（知識）
- ・個々の違いを超えてすべての人が社会に貢献している例を明らかにする（知識）
- ・他者へのからかいが有害となる例を列挙する（知識）
- ・すべての人は個々に異なりそれぞれにすばらしく価値があり、尊厳と尊重をもって接せられる権利をもつことを認識する（態度）
- ・他者に寛容、包摂、尊重を表現する方法を実際にやってみる（スキル）

1.4 長期の関係性と親になるということ

キーアイデア さまざまな家族構成と結婚観がある

- ・「家族」「結婚」の概念を説明する（知識）
- ・結婚するまでのさまざまなあり方を列挙する（結婚するパートナーを選ぶ、お見合い結婚をするなど）（知識）
- ・結婚は、別居、離婚や死別などで終わりを迎える場合があることを再認識する（知識）
- ・家族構成や結婚するまでのあり方はそれぞれ異なるが、それぞれに価値があるということを認識する（態度）

2.1 価値観、セクシュアリティ

キーアイデア 価値観は、個人、家族、コミュニティの中でつくられる大切なことへの強力な信条である

学習者ができるようになること

- ・価値観の意味を明らかにする（知識）
- ・平等、尊重、受容、寛容などの重要な個人的価値観を明らかにする（知識）
- ・価値観や信念が人生や関係性における決定をどのように導いていくかを説明する（知識）
- ・個人、仲間、家族、コミュニティ、それぞれが異なった価値観をもちうることを認識する（態度）
- ・他者がもっている価値観を共有する（スキル）

2.2 人権・セクシュアリティ

キーアイデア 誰にでも人権がある

学習者ができるようになること

- ・人権の意味を明らかにする（知識）
- ・誰にでも人権があり、それは尊敬されるべきことを認識する（態度）
- ・人々の人権に対する支持を表現する（スキル）

キー
コン
セプ
ト2

価値
観・
人権
・

文化・セクシュアリティ	<p>2.3 文化、社会、セクシュアリティ</p> <p>キーアイデア 自分自身、自分たちの感情、自分たちのからだについて学ぶのを助ける多くの情報源がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身、自分たちの感情、自分たちのからだについての理解を助ける情報源（家族、個人、仲間、コミュニティ、ソーシャルメディアも含めたメディアなど）を列挙する（知識） ・家族やコミュニティから学んだ価値観や信条は、自分自身、自分たちの感情、自分たちのからだについての理解を導くことを認識する（態度） ・信頼するおとなを特定し、自分たちの感情やからだについてもっている疑問をどのように尋ねるかはっきりと示す（スキル）
キーコンセプト3 ジェンダーの理解	<p>3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性</p> <p>キーアイデア 生物学的セックス（生物学的性）とジェンダーの違いを知ることは重要である学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーとセックスの意味を明らかにし、それらがどのように異なるのかを説明する（知識） ・自分のセックスとジェンダーについてどう感じるかを省察する（スキル） <p>キーアイデア 家族、個人、仲間、コミュニティはセックスとジェンダーについての情報源である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セックスとジェンダーについての情報源を明らかにする（知識） ・セックスとジェンダーに関する視点は多くの異なる情報源に影響されていることを認識する（態度） <p>3.2 ジェンダー不平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス</p> <p>キーアイデア ジェンダーに関係なくすべての人に平等の価値がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーを理由に人がどのように不公平、不平等に扱われうるのかを明らかにする（知識） ・家や学校、コミュニティにおいて、ジェンダーの異なる者同士で、対等で公平な関係性を築くさまざまな方法を説明する（知識） ・ジェンダーの異なる人を不公平に、不平等に扱うことは間違っており、人権に反することだと認識する（態度） ・ジェンダーの違いに関係なく、他者の人権を尊重することは重要なことであると認識す（態度） <p>3.3 ジェンダーに基づく暴力</p> <p>キーアイデア ジェンダーに基づく暴力とは何か、助けをどこに求めるべきかを知ることは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーに基づく暴力とは何かを明らかにし、さまざまな場（例えば、学校、家庭、あるいは公共の場）でそれが起こりうることを認識する（知識） ・私たちのジェンダーやジェンダーステレオタイプに対する考え方は、差別や暴力も含めて他者をどう扱うかに影響することを理解する（知識） ・あらゆる形のジェンダーに基づく暴力は不当な行為であることを認識する（態度） ・学校内やその周辺でのものも含め、自分たちや自分たちが知っている誰かが、ジェンダーに基づく暴力に直面した場合、それを話すことのできる信頼できるおとなにどのようにアプローチすべきかを明らかにし、説明する（スキル）

4.1 暴力

キーアイデア いじめ、暴力を認識し、それらは間違っただけであると理解できることが重要である
学習者ができるようになること

- ・からかい、いじめ、暴力とは何かを明らかにする（知識）
- ・いじめ、暴力は間違っただけであること、そしてそれが家族や他のおとなからのものであっても、被害者は決して悪くないことを認識する（態度）
- ・仲間の中でのいじめや暴力に対応できる安全な行動をはっきりと示す（スキル）

キーアイデア 子ども虐待を認識でき、それが間違っただけであると理解することは重要である
学習者ができるようになること

- ・性暴力、ネット上での子どもに対する性的搾取も含め、子ども虐待を明らかにする（知識）
- ・おとなや知り合い、信頼する人、たとえ家族によるものだったとしても、子どもへの性的虐待を含め、子ども虐待は子どもの権利の侵害であること、そして被害者が決して悪くないということを認識する（態度）
- ・おとなが性的虐待をしようとした場合にとれる行動をはっきりと示す（「いやだ」「あっちにいけ」ということ、信頼できるおとなに話すなど）（スキル）
- ・親や保護者、信頼できるおとなを特定し、虐待を受けた場合に虐待されたことをどのように伝えるかをしっかりと示す（スキル）

キーアイデア 両親や恋愛関係にある人たちの間でも暴力は間違っただけであると理解することは重要である
学習者ができるようになること

- ・親同士や恋愛関係にある人たちの間で起こりうるさまざまな暴力（身体的暴力、言葉による暴力、パートナーに強制的に何かをさせるなど）について認識する（知識）
- ・親同士や恋愛関係にある人たちの間でも暴力は間違っただけであると認識する（態度）
- ・家庭内でそのような暴力を目にした場合、サポートしてくれる信頼できるおとなにどのようにアプローチしたらよいかを明らかにし説明する（スキル）

4.2 同意、プライバシー、からだの保全

キーアイデア 誰もが、自らのからだに誰が、どこに、どのようにふれることができるのかを決める権利をもっている

学習者ができるようになること

- ・「からだの権利」の意味について説明する（知識）
- ・からだのどこがプライベートな部分かを明らかにする（知識）
- ・誰もが「からだの権利」をもつことを認識する（態度）
- ・自分が不快だと感じる触られ方をした場合にどのように反応すればよいか（「いやだ」「あっちにいけ」という、信頼できるおとなに話すなど）をはっきりと示す（スキル）
- ・自分が触られて不快だと感じた場合に、親や保護者、信頼できるおとなにどのように伝えるのかを明らかにし説明する（スキル）

4.3 情報通信技術（ICTs）の安全な使い方

キーアイデア インターネットやソーシャルメディアは情報収集や他者とつながる方法であり、安全に使うこともできる一方、子どもを含めて人々が傷つけられるリスクをもっている

学習者ができるようになること

- ・インターネットやソーシャルメディアとは何かを説明する（知識）
- ・インターネットやソーシャルメディアの利点と潜在的な危険性を列挙する（知識）
- ・インターネットやソーシャルメディアを、その危険性を認識しつつ、ポジティブに評価する（態度）
- ・インターネットやソーシャルメディアで自分が不快に思うことや怖いと感じることをしてしまったり、見てしまったりした場合、信頼できるおとなに伝える方法を明らかにし、実際にやってみる（スキル）

5.1 性的行動における規範と仲間の影響

キーマイデア 仲間からの影響はさまざまであり、よい場合も悪い場合もある

学習者ができるようになること

- ・ピアプレッシャー（仲間からの同調圧力）の意味を明らかにする（知識）
- ・仲間からのよい影響、悪い影響の例を説明する（知識）
- ・仲間からの影響にはよいものも悪いものもありうることに気づく（態度）
- ・ピアプレッシャーに対抗するさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）
- ・仲間に影響を与えるポジティブな行動のモデルをつくる（スキル）

5.2 意思決定

キーマイデア 誰もが自ら意思決定するに値し、そのすべての決定は結果をもたらす

学習者ができるようになること

- ・自分が下しその内容に誇りをもっている意思決定を説明する（知識）
- ・自分たちの、そして他者の、よい結果あるいは悪い結果をもたらす意思決定の例を明らかにする（知識）
- ・子ども、若者が意思決定をするときには、親や保護者、信頼できるおとなの助けが必要なときもあることを認識する（態度）
- ・適切な意思決定をするための助けが得られる状況についての理解をはっきりと示す（スキル）
- ・適切な意思決定をするために助けを求められる親、保護者、信頼できるおとなを明らかにする（スキル）

5.3 コミュニケーション、拒絶、交渉のスキル

キーマイデア 親、保護者、信頼するおとなと子どもとの関係性、そして友だちやその他のすべての人との関係性において、コミュニケーションは重要である

学習者ができるようになること

- ・さまざまなコミュニケーションの形（言語・非言語コミュニケーション含む）を明らかにする（知識）
- ・健康的なコミュニケーションと、不健康的なコミュニケーションの違いを明らかにする（知識）
- ・親、保護者、信頼するおとなと子どもとの、そして友だちやその他すべての人との健康的なコミュニケーションのもたらす利点を列挙する（知識）
- ・「イエス」「ノー」といった明確な意思表示が、自分のプライバシーを守り、からだを保全し、幸せな関係性を構築する中核をなすということを再認識する（知識）
- ・すべての人が、自分の意見を表明する権利があることを認識する（態度）
- ・言語・非言語コミュニケーション、「イエス」「ノー」を表現するさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

5.4 メディアリテラシー、セクシュアリティ

キーマイデア メディアにはさまざまな形態があり、それは正しい情報を提供するものも、間違った情報を提供するものもある

学習者ができるようになること

- ・さまざまなメディアの形態（ラジオ、テレビ、本、新聞、インターネット、ソーシャルメディアなど）を列挙する（知識）
- ・メディアを通じて提供される正しい情報と誤った情報の例について議論する（知識）
- ・メディアからの情報は必ずしも正しくないことを認識する（態度）
- ・さまざまなメディアを通じて提供される情報の見方に対する認識をはっきりと示す（スキル）

	<p>5.5 援助と支援を見つける</p> <p>キーアイデア 友だち、家族、先生、宗教の指導者、コミュニティのメンバーはお互いに助け合うことができるし、そうすべきである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼できるおとなとはどんな存在かを説明する（知識） ・お互いに助け合えるさまざまな具体的方法を説明する（知識） ・すべての人に、保護され支援される権利があることを認識する（態度） ・信頼できるおとなを見つけ、助けを求めるさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）
<p>キ ー コ ン セ プ ト 6 人 間 の か ら だ と 発 達</p>	<p>6.1 性と生殖の解剖学と生理学</p> <p>キーアイデア 自分のからだの名称と機能を知ることは重要で、性と生殖にかかわる器官も含め、それらについて知りたいと思うことは自然なことである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内性器、外性器の重要な部分を明らかにし、それらの基本的な機能を説明する（知識） ・性と生殖にかかわる器官も含め、自分のからだを知りたいと思うことはまったく自然なことであると認識する（態度） ・自分が知りたいと思うからだの部分に関する疑問について、質問したり疑問に答えたりすることを実践する（スキル） <p>キーアイデア 障がいのある人を含む誰もが、尊重に値するそれぞれにすばらしいからだをもっている</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性と女性、男子と女子のからだの同じところ、違うところ、そしてそれらが時間の経過とともにどう変化していくかを明らかにする（知識） ・すべての文化に人間のからだを見るさまざまな視点があることを説明する（知識） ・障がいのある人を含めて、すべての人のからだは、尊重に値することを認識する（態度） ・自分のからだの好きなおところについて表現する（スキル） <p>6.2 生殖</p> <p>キーアイデア 妊娠は、卵子と精子が結合し、子宮に着床して始まる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖のプロセス、特に精子と卵子が結合し、それが子宮に着床して初めて妊娠が始まることを説明する（知識） <p>キーアイデア 妊娠は一般的に 40 週程度続き、妊娠中の女性のからだはさまざまな変化をたどる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の女性のからだがたどる変化を説明する（知識） ・妊娠中の女性のからだがたどる変化についてどう感じるかを表現する（スキル） <p>6.3 前期思春期</p> <p>キーアイデア 前期思春期は、子どもが成長、成熟するにつれて発現する、身体的、感情的変化が起こる時期である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期思春期の意味を明らかにする（知識） ・成長には、身体的、感情的変化を伴うことを理解する（知識） ・前期思春期に起きる変化は通常の健康的な要素であることを認識する（態度）

	<p>6.4 ボディイメージ</p> <p>キーアイデア すべてのからだは特別で、個々に異なりそれぞれにすばらしく、からだに対してはポジティブな感情を抱くべきである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰のからだも特別で個々に異なりそれぞれにすばらしいことを再認識する（知識） ・自分のからだに誇りをもつことの意味を説明する（知識） ・自分のからだをポジティブに認識する（態度） ・自分のからだについてどう感じるかを表現する（スキル）
<p>キー コン セプ ト7 セク シ ユ ア リ ティ と 性 的 行 動</p>	<p>7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性</p> <p>キーアイデア 一生を通して、自分のからだや他者と親しい関係になることを楽しむことは、人として自然なことである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的なよろこびや興奮は自然な人間の感情であり、そこには他者との身体的親密さが含まれることを理解する（知識） ・身体的感覚を表す多くの言葉があり、それらには他者にその感覚を示すものや他者と親密になることにかかわる言葉もあるということを理解する（知識） ・自分の感情を他者に示したり他者との親密さを表現する方法に関して、適切な言葉や行動と、不適切な言葉や行動があることを認識する（態度） <p>7.2 性的行動、性的反応</p> <p>キーアイデア 人は他者にふれたり親密になったりすることで、相手に愛情を示すことができる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キス、ハグ、ふれあいを含むさまざまな方法や、また時には性的行為を通して、他者に愛情や思いやりを示すことができることを提示する（知識） <p>キーアイデア 子どもは、何が適切なタッチで、何が適切ではないタッチなのかを理解すべきである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よいタッチ」と「悪いタッチ」を明らかにする（知識） ・子どもへの悪いタッチの方法があることを認識する（態度） ・もし誰かが悪い方法でタッチしてきた場合にすべき行動を実際にやってみる（スキル）
<p>キー コン セプ ト8 性 と 生 殖 に 関 する 健 康</p>	<p>8.1 妊娠、避妊</p> <p>キーアイデア 妊娠は、自然な生物学的プロセスで、計画可能なものである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠は、卵子と精子が結合し、子宮に着床して始まることを再認識する（知識） ・妊娠と生殖は自然な生物学的プロセスであり、いつ妊娠するかは計画可能であることを説明する（知識） ・すべての子どもは望まれ、ケアされ、愛されるべきであることを説明する（態度） ・すべてのカップルが子どもをもつわけではないことを認識する（知識）